【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【公開番号】特開2003-33159(P2003-33159A)
【公開日】平成15年2月4日(2003.2.4)
【出願番号】特願2001-222762(P2001-222762)
【国際特許分類】
Ａ２３Ｌ　1/304　(2006.01)
Ｃ０１Ｆ　5/08　(2006.01)
Ａ２３Ｌ　2/52　(2006.01)
Ａ２３Ｌ　2/38　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２３Ｌ　1/304
Ｃ０１Ｆ　5/08
Ａ２３Ｌ　2/00　Ｆ
Ａ２３Ｌ　2/38　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成20年7月1日(2008.7.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　比表面積が１～５０m^2／ｇの範囲内にあり、粒子径が８μｍ以上の粒子の含有量が５体積％未満であることを特徴とする食品添加用酸化マグネシウム粉末。
【請求項２】　比表面積が１～３０m^2／ｇの範囲内にあり、粒子径が８μｍ以上の粒子の含有量が５体積％未満であることを特徴とする食品添加用酸化マグネシウム粉末。
【請求項３】　粒子径が８μｍ以上の粒子の含有量が１体積％未満であることを特徴とする請求項１または２に記載の食品添加用酸化マグネシウム粉末。
【請求項４】　さらに、クエン酸活性度が８０～４５０秒の範囲内にあることを特徴とする請求項１乃至３のうちのいずれかの項に記載の食品添加用酸化マグネシウム粉末。
【請求項５】　鉛化合物の含有量が鉛として１０ｐｐｍ以下であることを特徴とする請求項１乃至４のうちのいずれかの項に記載の食品添加用酸化マグネシウム粉末。
【請求項６】　比表面積が１～５０m^2／ｇの範囲内にあり、粒子径が８μｍ以上の粒子の含有量が５体積％未満であることを特徴とする酸化マグネシウム粉末を含有する組成物。
【請求項７】　比表面積が１～５０m^2／ｇの範囲内にあり、粒子径が８μｍ以上の粒子の含有量が５体積％未満であることを特徴とする酸化マグネシウム粉末を含有する食品。
【請求項８】　比表面積が１～５０m^2／ｇの範囲内にあり、粒子径が８μｍ以上の粒子の含有量が５体積％未満であることを特徴とする酸化マグネシウム粉末と水を混合する工程を含む製造方法で製造される飲料。